

横浜市立緑園東学校 令和二年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
よりよい自分 よりよい仲間	健全な自尊感情の向上 自己教育力・人間関係力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
(1) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合う学校を作ります。 (2) 子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていくことを育てます。 (3) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4) 学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校をつくれます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

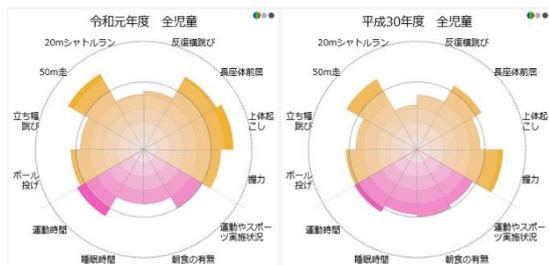
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①体力向上をめざし、児童自身の問題意識を生かした委員会主催の体力向上に取り組む。 ②学校の取組を自分の生活態度・生活習慣の形成に生かせるようにする。 ③体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。 ④学校生活全般を通して「食育」への意識を高める。
担当	体育部

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・体力については、各学年男女とも半分の項目で全国平均や市平均を上回っている。
- ・朝食の摂取率が高く、95%以上の児童は毎日欠かさず食べている。
- ・保健に関する知識はあるが、日常の行動と結びついていない。
- ・地域行事への意欲的ではあるが、地域ではさらに参加してほしいと思っている。
- ・塾や習い事に通う子どもが多く、朝眠そうにしている子どもが多くみられる。

(2) 体力の概要と要因の分析（全校配布の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



新体力テストの結果から、50m走、長座体前屈、握力上体起こしについては市の平均よりも大きく上回っている。しかし、反復横跳び、20mシャトルランについては、市の平均よりも下回っている。ただ、30年度と比べるとどちらも上昇はしている。このことから持久力や敏捷性については引き続き重点的に取り組んでいき、運動経験を多くできるように活動を計画していく。また、睡眠や食事についても考える機会を作っていく。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・体育科では自分のよさや可能性に気づくことができることを目標とし、子どもをやる気にさせる展開の工夫や慣れの運動の充実を考え、研修に努める。
- ・運動会では体育科で培った資質能力をさらに発展させ、演技や競技の練習に取り組み、自分の可能性に気づくことができるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、学習の充実をめざす。

特別活動・総合的な学習の時間

- ・運動委員会では「大縄集会」「**ダンシングエクササイズ**」「逃走中集会」を計画し、年間を通して、楽しみながら運動に取り組むことができる雰囲気をつくるようにする。
- ・学校保健委員会では、児童の実態にあったテーマを設定し、健康・安全に対する意識を高められるようにする。最近6年間は「ケガOプロジェクト」をテーマに、様々な委員会がテーマに向けた取組を進めている。
- ・地区の体育的行事に、積極的に参加できるよう、学校でもそれに向けた声かけをする。

課外活動

- ・保健委員会による保健集会の取り組み
- ・集会での体力づくりの充実
- ・給食委員会による給食週間の取り組み
- ・休み時間での運動の奨励
- ・学校保健委員会の取り組み

令和二年度 緑園東小学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 **自分の体と心を晴れやかにする体力づくり**
～PDCAサイクル・**ケガOプロジェクト**を活用して～
- 《ねらい》 運動機会の確保、教員の指導力向上
- 《内容》 体育的行事を運動委員会（児童）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。
- ・**運動委員会**（集会・休み時間に取り組めるような運動の提案）
 - ・**保健委員会**（学校保健委員会・）
- 指 標： ①毎時間の授業のふり返し
②行事最中と行事後のふり返し
③生活実態調査から検証する。